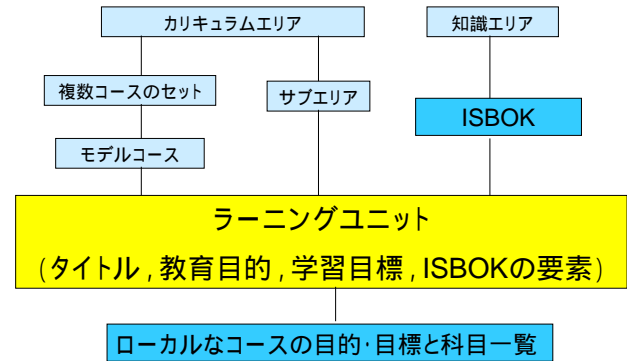


# J07-ISカリキュラムの概要

歴史的変遷, IS人材像  
 エリアとコース  
 カリキュラム策定の全体像  
 ISBOKとスキル  
 ラーニングユニット  
 5つのモデルカリキュラム  
 カリキュラム作成支援

IS教育委員会委員長 神沼靖子 2008.3.13

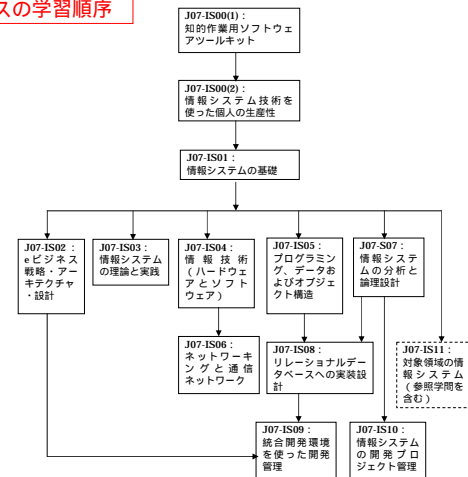
# ISカリキュラムの全体像



# カリキュラムエリア

- A: CISの基礎
  - A1 ~ A2のサブエリア
- B: 情報システムの理論と実際
  - B1 ~ B4のサブエリア
- C: 情報技術
  - C1 ~ C6のサブエリア
- D: システム開発
  - D1 ~ D5のサブエリア
- E: 情報システムの配置と管理
  - E1 ~ E4のサブエリア

# モデルコースの学習順序



## ISBOKの概要

- 第1階層(3つの枠組)
  - 情報技術, 組織と管理概念, システムの理論と開発
- 第2階層(専門分野の基本的な項目)
  - 他の4領域における枠組に相当
- 第3階層(第2階層の細分化)
  - 専門知識の項目
- 第4階層(詳細項目)
  - 具体的な方法例, キーワードなど
- **三種類の表を提供**
  - 第3階層まで展開(公開)
  - 第4階層までの簡易版(付録1参照)
  - 重要度や他領域との関係を示した第4階層までの詳細版(公開)

5

## ラーニングユニットの導入

- ガニエのインストラクショナルデザインの原理に基づいた概念
- 自主的な学習者に知識を伝えるために設計された、システムの構成要素
- 学習コースを記述するために用いられている要素であり、教育プログラムに組み込まれる重要なユニット
- 教育目的と関係するBOK、学習目標と評価のレベル(何がどこまでできるようになるか)を明確にしたもの
- 適切なLUがない場合には、新たに作成してLUリストに追加
  - LUの粒度はさまざま
- LUとスキルを参照して関連項目を選択し、科目を構成する

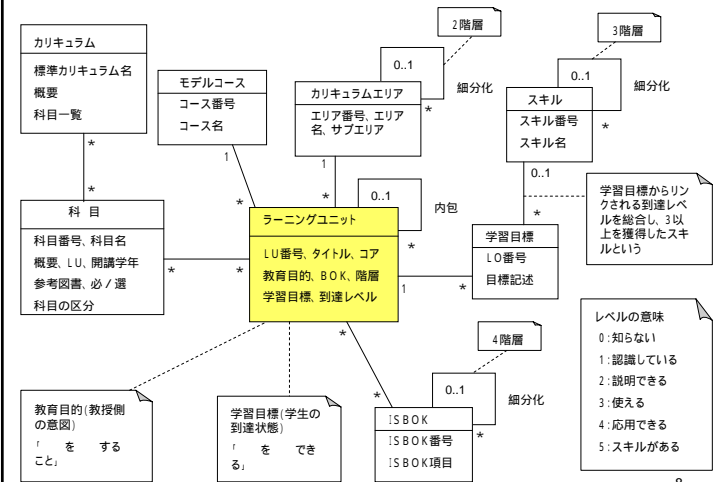
6

## モデルコースの仕様

- コース# (例: J07-IS00(2)), コース名 (例: 情報システム技術を使った個人の生産性)
- コースの概要(カタログ)
- コースの意図(スコープ)
- コースの主な項目(トピックス)
- コースの指導要領
- 関係するラーニングユニットのリスト
  - LU#, 教育目的, 対応するISBOKの要素, 学習目標

7

### カリキュラム開発の概念モデル



8

## スキル (Skills) の考え方

- 現実フィールドの仕事に必要なレベルの能力に注目する
- 情報システム開発の各フェーズに必要な技術に注目する
- 知識の理解に留まらず、どのような能力が求められるかに注目している
- 学習目標のレベル3以上を対象として列挙している
  - 知識の理解に必要な技能, リテラシレベルは取り上げない
  - スキルセット, サブスキル, 対応する仕事上の項目(用語)

9

## 科目の編成 (詳細)

- 記述内容
  - 科目ID, 科目名, 開講学年, 単位, 必/選の別, 科目区分
  - 科目の目標
  - 科目の内容(キーワード)
  - 参考図書
  - 参照するラーニングユニットの列挙(LU#, タイトル, レベルと学年, カリキュラムエリア)
- LU一覧とスキルを参照して関連するLUを選択する
  - 適切なLUが存在しない場合には, 新たに作成してLUリストに追加する
  - LUの粒度はさまざま, 大きなLUには小さなLUが含まれることがある
- 科目はLUで編成される

10

## 5つのモデルカリキュラム

- ISの対象分野のモデルとして
  - STANDARD(情報システム標準カリキュラム)
    - 情報システム全般の知識について学ぶ一般的なカリキュラム
  - MIS(経営情報システム標準カリキュラム)
    - 経営管理とISに注目したカリキュラム
  - NETWORK(ネットワーク情報システム標準カリキュラム)
    - ネットワークとeビジネスに注目し特化したカリキュラム
  - EDUCATION(教育情報システム標準カリキュラム)
    - 情報システムの視点から教育に注目したカリキュラム
  - HIGHLEVEL(高度情報システム標準カリキュラム)
    - システム開発を重視したカリキュラム

11

## カリキュラム (科目差し替え可能性)

カリキュラム名	設定した 単位数	必修 単位数	教養・選択等 余裕科目数
STANDARD	9 2	6 6	2 9
MIS	1 2 8	7 6	2 4
NETWORK	9 2	6 8	2 8
EDUCATION	1 0 3	5 2	3 6
HIGHLEVEL	1 1 6	4 8	3 8

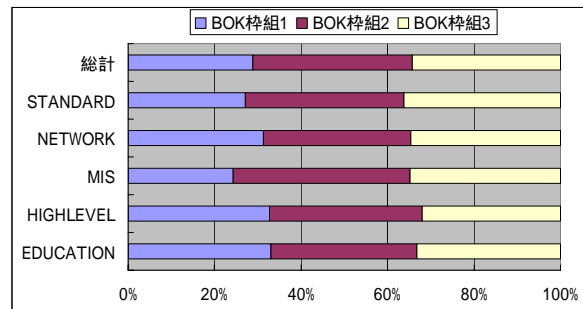
12

## カリキュラムの構成

- 科目一覧に表示する内容(本文に掲載)
  - 科目ID, 科目名
  - 開講学年, 単位数, 必修/選択の別, 専門/専門基礎/教養の区分
  - 科目の目標
- 科目構成で配慮したこと
  - コアとなるLUは, 必修科目のどれかに含まれている
  - 教養科目は各大学が適宜設定する
  - ISとして重要な科目であっても, 同内容の教養科目で置き換え可能なものは選択科目としている

13

## モデルカリキュラムの評価とISBOKの関係



14

## 提供する成果物

<http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/~miyagawa/is/isecom/material/j07-is/>

- ISBOK(全13頁), LU(全25頁), スキル(全3頁)
- コースの仕様(全51頁)
  - コース記号, コース名, カタログ, スコープ, トピックス, 教え方と期待すること
  - LUリスト: LU#, 教育目的, BOKレベル, BOK内容, 学習目標
- モデルカリキュラム(全66頁)
  - 科目番号, 科目名, 目標, LU#, LUのタイトル, サブスキル, 学年, 単位, 科目区分(専門, 専門基礎, 教養, 必修/選択など)
- スキルに対応するLU(全3頁)
  - スキルセット, スキル, サブスキル, LU#, LUのタイトル
- スキルに対応する教育目的(全4頁)
  - スキルセット, スキル, サブスキル, LU#, 教育目的
- カリキュラムエリアに対応するLU(全4頁)
  - カリキュラムエリア, サブエリア, レベル, コース#, LU#, LUのタイトル
- コースに対応するLU(全6頁)
  - コース名, カリキュラムエリア, サブエリア, LU#, レベル, LUのタイトル

15

## IS教育カリキュラム策定にかかわってきたメンバー

委員長: 神沼靖子

幹事: 宮川裕之

委員: 渡邊慶和, 竹並輝之, 児玉公信

: 松永賢次(広報担当), 吉永努

: 田名部元成, 福村好美, 松澤芳昭

: 繁野高仁, 市川照久, 都倉信樹

(順不同)

16